JLAC11測定法コード表の読み方

1. 概要

JLAC11の第４要素である測定法コード（３桁の文字列コード）は、測定法を識別するために用いる。

測定法コードは、測定物コード（第１要素）に従属した固有コードとして付番する。体外診断用医薬品の場合は「測定法名称と個々の商品名称組み合わせ」、検体検査用の医療機器の場合は「個々の機器」で識別する。

1. コード表の構成

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| # | 項目 | 説明 | 例 |
| １ | 測定物コード | #4測定法コードが従属する測定物コード | V2011 |
| ２ | 測定物名 | #1に対応する測定物名 | HBs抗体 |
| ３ | 測定法コード | 測定法を一意に定義するコード | 018 |
| ４ | 測定法名 | 測定法コードに対応する名称 | CLEIA法\_ルミパルスⅡ　HBsAb |
| ５ | 備考 | #1~#4に関連する備考 |  |

※測定法名称は、JLAC10の測定法名称と体外診断用医薬品、検体検査用医療機器の販売名称を組み合わせて表現する

1. 基本ルール

測定法コードには001～999を用い、用途によって下記の通りコード帯を区分する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| # | コード帯 | 用途 | 例示 |
| 1 | 001～500 | 体外診断用医薬品による | HBs抗原（V2011）に対して、  CLEIA法\_ルミパルスⅡ　HBsAb |
| 2 | 501～900 | 検体検査用医療機器による | ヘモグロビン分画（B0002）に対して、  D-100システム（501） |
| 3 | 901～979 | #1、#2に依存しない測定法 | 赤血球凝集反応（定性） |
| 3 | 980～989 | 特に、鏡検法による | 末梢血液像[鏡検法]（B1030）に対して、  鏡検法（無染色）（980）、鏡検法（染色）（981） |
| 4 | 990～999 | その他 |  |